



平成12年5月22日

eワラント大幅銘柄追加で111企業、200銘柄に 日経平均・TOPIXワラントも追加

インターネット・トレーディング専門証券会社のディーエルジェイディレクト・エスエフジ
ー証券株式会社(代表取締役社長:國重惇史、本社:東京都千代田区;以下
「DLJdirect」)とゴールドマン・サックス証券会社(社長:マーク・シュワルツ、本社:東京
都港区;以下「ゴールドマン・サックス証券」)は、6月2日よりインターネットを通じた売買
を行っているカバードワラント(通称:eワラント)の対象銘柄を大幅に拡大します(株価指
数を対象とした17種類は6月中旬より取引開始)。

。今回の銘柄追加は、DLJdirect 顧客のリクエストに加え、対象企業の人気度、対象
セクターの拡大を加味して実施いたします。200銘柄の内訳としては、従来の50社を対
象とした100銘柄、50社中14社への権利行使価格新規設定分14銘柄、新規61社を
対象とした(内8社については2銘柄の追加)69銘柄、株価指数(日経平均株価および
TOPIX)を対象とした17銘柄、となります。

また、日経平均株価及びTOPIXを対象としたeワラントについてはコール・ワラント、プ
ットワラントを用意いたします。プット・ワラントを利用すれば、株式相場が今後下落する
と想定される場合に、株価指数が下落すると利益が出るプット・ワラントを購入すること
によって保有株式ポートフォリオのヘッジを行うことが可能となります。

eワラント取引は、個人投資家に対し、従来の現物株式取引、信用取引、ミニ株取引
などとは明らかに異なる新たな投資機会を与えるものです。その特徴としては、

従来非常に人気が高く手の出しにくかった値嵩銘柄に対し、1万円~10万円の少
額投資手段の提供。

直接の株式投資に比べてよりハイリスク・ハイリターンな投資機会の提供。

損失は投資元本に限定。

リアルタイム取引ができる高流動性(9:00-15:00、昼休み時間の11:00-12:30も
取引可)。

<カバードワラントとは？>

カバードワラント取引は、海外、特にヨーロッパにおいて個人投資家を中心に大変盛んに行われており、市場規模は売買高にして年間11兆円と見込まれます。特にドイツ、スイス、イタリアでその4分の3を占めます。

従来のワラント(新株引受権)が企業の資金調達のために発行されてきたものであるのに対し、カバードワラントは、原資産とは無関係の金融機関などが株式や株価指数などを一定の期日に一定価格で買い付け、または売り付ける権利を証券化したものです。商品の経済性はオプション取引そのものですが、権利ではなく有価証券の売買となります。

DLJ*direct* は、1999年3月に設立され、同年6月11日よりサービスを開始した日本初のインターネット・トレーディング専門の証券会社です。DLJ*direct* Japan Holdings Inc.、住友銀行、さくら銀行、インターネットイニシアティブ、住友商事、住友海上火災保険、住友信託銀行、住友生命保険が株主となっています。

ゴールドマン・サックス証券会社は、ニューヨーク証券取引所上場の世界最大手の投資銀行、ザ・ゴールドマン・サックス・グループ・インクの子会社です。1974年に東京駐在員事務所開設、1986年に外国証券会社として初めて東京証券取引所の正会員となりました。投資銀行かつ証券会社の機能を有し日本の企業、金融機関、政府機関、個人顧客に対して、幅広い金融サービスを提供しています。